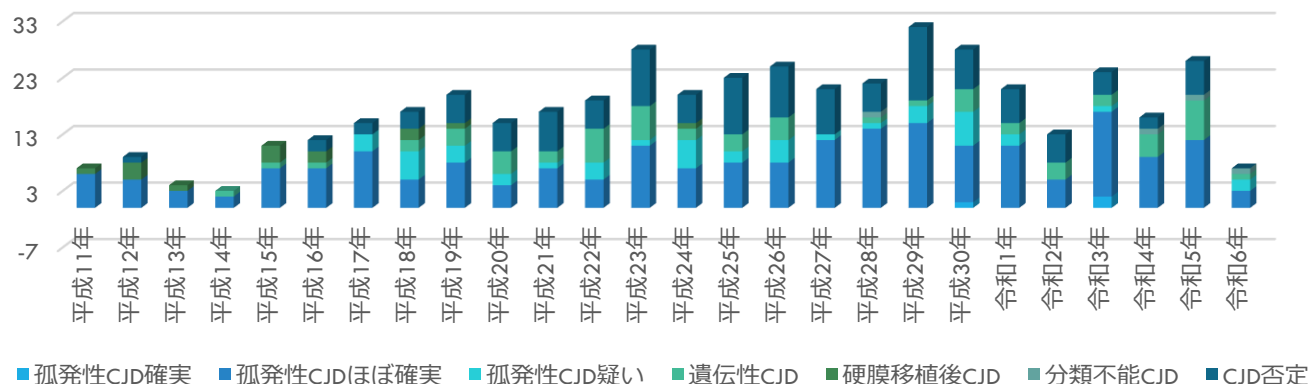
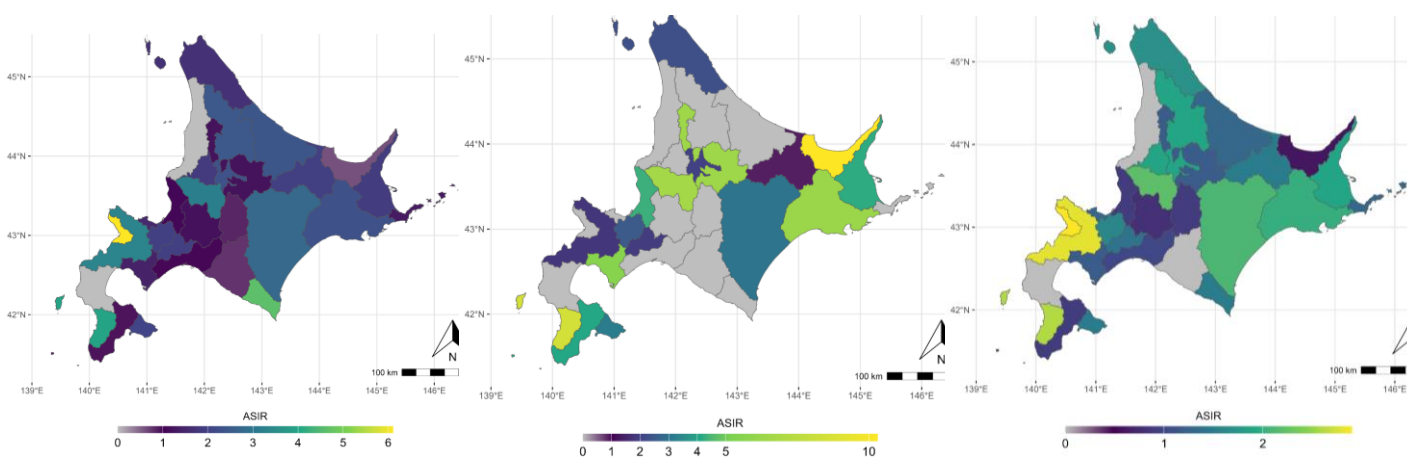


令和6年度北海道地区におけるプリオン病サーベイランス状況

研究分担者：北海道大学神経内科 矢部一郎



年齢調整罹患率(サーベイランス、国民健康保険レセプト、サーベイランス:65歳以上)



解 説

- 1.北海道地区ではサーベイランス調査の開始から、これまでに455例を調査している。診断の内訳は2024年11月1日時点では孤発性CJD(sCJD) 255例、遺伝性CJD 60例、硬膜移植後CJD 14例、診断保留あるいは分類不能5例、否定120例であった。
- 2.国民健康保険においては、ICD-10:A810 に分類される病名が登録され、2019年から2023年までの65歳以上区分について、それぞれ保健所管轄区域(北海道は30区域)を、2015年モデル人口を用いて年齢調整罹患率 $i = (\sum P_j * R_{ij}) / \sum P_j$ (i は保健所管轄区域、 j は5歳刻み階級、 R はA810の粗罹患率、 P はモデル人口)として算出した。
- 3.札幌を基準として考えた場合に、サーベイランス、レセプトの結果に近似した傾向を認めた。